

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 18日

中施策事業名	消費者相談事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる
③中施策	サービスや支援を充実し、負担を軽減する
④中施策事業の対象	市民
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	消費生活相談窓口の解説や対処方法が周知されていて、消費者の安全が確保されている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者団体 ・消費者相談 ・消費者問題 ・消費生活講座

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況								
消費生活相談件数 (単年度)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	
		目標値	205	210	215	220	225	230
単位	件	実績値	212	198				
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
		目標値	0	0	0	0	0	0
単位	人	実績値	0	0				

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			3,661千円	2,931千円	
人 件 費	a 事業費合計		3,661千円	2,931千円	2,875千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			1,868千円	2,006千円	750千円
③ コスト(①-②)			1,793千円	925千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			26円	13円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	<input type="radio"/>	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	<input type="radio"/>	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	<input type="radio"/>	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	<input type="radio"/>	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	<input type="triangle"/>	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	<input type="radio"/>	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A 平成29年度より開設日を週4日として継続している。地域包括ケア連絡協議会との連携及び老人クラブ、高校への出前講座を行い、より一層の健全な消費生活の維持及び予防を図ることができた。</p> <p>また、広報による周知も毎月行っており、注意喚起の発信を積極的に実施する実施することができた。</p> <p>相談員との情報共有を図り、相互に適正な助言等を掛け合いながら日々最新の情報交換により予防を図ることができた。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	開設日を週4日として継続していく。見守りネットワークとして、これからも地域包括ケア連絡協議会と連携を図っていく。 地域の関連団体向けとして民生委員にも周知を図り出前講座の実施に向けて調整する。また、若者向けの啓発として、中学生向けの出前講座の実施に向けて調整を図っていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	特殊詐欺など、進化し続ける消費者トラブルを未然に防ぐためにも、相談員自らの知識の習得も重要であることから、研修の機会があれば、積極的に参加し、最新の情報から、トラブルにあった市民へ対応できる体制の構築を図っていく。 相談員と連携しあいながら、調査研究を深め、トラブルの増加を防いでいく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 18日

中施策事業名	ふるさと豊明応援寄附推進事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する
④中施策事業の対象	全国納税者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	ふるさと納税を行うことにより、豊明市の行政に貢献できていると感じ、またお礼の品を賞味や体験することにより、豊明市の魅力を感じている
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の発送・受付 ・ふるさと納税の拡大・啓発事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ふるさと豊明応援 寄附額(単年度)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	30,000,000	35,000,000	43,000,000	45,000,000	45,000,000	0
	実績値	16,338,000	24,158,840				
単位 円	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			7,691千円	9,542千円	
人 件 費	a 事業費合計		7,691千円	9,542千円	10,500千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			7,691千円	9,542千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			112円	139円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	あまり貢献できなかった	×	
	重点をおく指標は妥当でしたか	指標自体を見直す必要がある	×	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より遅れている	×	C

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	C　国のふるさと納税に関する運用の改正により、基準の適合に関して、随時国の審査が行われるようになった。それに伴い、出品まで結果を待つ時間ができ、迅速な出品ができなくなった。しかし、市内事業者からの新たな返礼品の提案について、僅かではあるが増加し、寄付額の増加に寄与することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	寄付額が、やや改善したところではあるが、これからも、クラウドファンディングをはじめとして、新規返礼品の開拓等により、寄付額の増加につながるように継続して実施していく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	①新たなクラウドファンディングを開拓し、使い道に共感が得られる事業を掲げ寄付の増加につなげていく。 ②国基準により適正な返礼品の市場調査を継続して行い、提供可能な商品には、積極的に依頼を行っていく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 18日

中施策事業名	観光活性化事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	31 豊明市に魅力があふれ、「通過するまち」から、「足を運んでいただけるまち」になっている
②大施策	とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす
③中施策	「行きたい」場所をつくる
④中施策事業の対象	市民及び市外在住者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	史跡観光やイベントへの来場者が増加し、市全体が賑やかに感じられる 市内観光史跡に興味をもち、知識を深めることにより郷土愛が醸成している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光行政 ・観光施設整備 ・地方創生事業（観光まちづくり） ・地方創生事業（プランディング）

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ボランティアガイドによる来客ガイド数(単年度)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
	実績値	11,040	5,087				
単位	人						
地域学校向ボランティアガイド回数(単年度)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	3	3	3	3	0	0
	実績値	0	0				
単位	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			10,444千円	10,527千円	
人件費	a 事業費合計		10,444千円	10,527千円	10,590千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			10,444千円	10,527千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			152円	153円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B まちづくり指標「市外から呼べるような場やイベントがあると思う市民の割合」が低迷しており、一番のまつりである「桶狭間古戦場まつり」が雨天予報により一部を除き、中止となった。また、大河ドラマが終わったことによる反動もあって、集客力の低下を招く一因ともなった。 豊明駅や鉄道を活用した観光は、他の担当部署とともに、調査研究を行った。 ガイドボランティアを講師として講演会など開催し、市民にもPRを図りつつ、SNSによる発信の回数を増加させたことで、一定のPRを図ることができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	雨天でも実施できるように「桶狭間古戦場まつり」の企画内容等を改善する。 来年放送予定のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟」を上手に活用して、桶狭間の戦いの地として、SNSを中心としてPRを図っていき、賑わいの創出につなげていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	①雨天でも、実施できる「桶狭間古戦場まつり」の定着化を図り、来場者数の増加につなげていく。 ②NHK大河ドラマ「豊臣兄弟」に放送を好機と捉え、更なるPRにつなげるよう積極的に出展できるように準備していく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 16日

中施策事業名	商工業振興補助事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	商工会、商工事業者、創業予定者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市の安定した雇用対策や商工会の運営、新規創業する事業者の増加で商工業が発展している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会等への指導及び育成 ・商工会等への補助金 ・社宅整備費補助金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
単位	名	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	800	800	800	800	800
単位	名	実績値	722	710			
		目標値	14	16	18	20	22
単位	件	実績値	15	20			

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			21,723千円	21,770千円	
人 件 費	a 事業費合計		21,723千円	21,770千円	21,770千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			21,723千円	21,770千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			316円	316円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : 商工業の振興を側面から支援するため、主に商工会への補助を行ってきた。空き店舗補助金は、市内空き店舗の実態やそれに対するニーズなどの調査を引き続き使いやすい補助制度となるよう検討したい。社宅整備補助事業は5件の申請があり、制度として認知され活用されていると思われる。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	補助事業のため、補助対象者である商工会とともに市内事業者の情報共有とPRを引き続行う。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	企業支援の施策は主に商工会を通じてPRするため、商工会への入会メリット等の紹介と合わせて、補助制度の活用や入会を促していく。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 17日

中施策事業名	商工業の育成振興事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市民、市外在住者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	商工業者に活気があり、経済活動が活発化して、市内での消費が拡大している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工業振興資金・信用保証料助成 ・商店街振興 ・地方創生事業（花マルシェ）

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
地域ブランド関連商品数（延べ）		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	15	15	15	15	15
		実績値	33	43			
地域ブランド関連イベント開催回数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	12	13	14	14	14
		実績値	6	11			
単位	個	単位	回	単位	回	単位	回

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			142,722千円	80,078千円	
人件費	a 事業費合計		142,722千円	80,078千円	83,024千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			21,000千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			121,722千円	80,078千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			1,769円	1,164円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : コロナ禍後の事業者支援として、引き続きセーフティネットの認定や信用保証料の助成等の支援を行った。 「とよあけ花マルシェ」はイベント以外にも引き続きSNSを活用しPRすることができた。 また、委託料の計画的・段階的な見直しについては、エディブルフラワーを使った商品とそれ以外の商品との手数料に差をつけて、収入増を図った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	「とよあけ花マルシェプロジェクト」が主催するイベントへの来場者は引き続き堅調であるためこれからも継続して発信を続けブランド化を広めていく。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「とよあけ花マルシェプロジェクト」では新たに「花の文化講演会」を実施し、更なるブランド化に努める。 既存市内企業者等に対し新たな補助金を用意し支援を行う。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) とよあけ事業者応援選べる補助金	内容、理由、時期等 市内小規模企業者等の振興に資するため、雇用確保・人材育成事業等に対し令和9年までの間、当該経費の1／2補助（上限10万円）を行う。	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 11日

中施策事業名	企業留置事業（補助金交付事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市内の企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・企業再投資促進補助金

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助事業認定申請 累計件数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	7	7	8	8	8
単位 件		実績値	6	6			
		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
単位 人		実績値	0	0			

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			43,189千円	55,066千円	
人 件 費	a 事業費合計		43,189千円	55,066千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			16,594千円	27,533千円	0千円
③ コスト(①-②)			26,595千円	27,533千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			386 円	400 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : 令和6年度は、前年に認定した1事業が操業し、再投資補助金を交付した。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業認定を行った企業に対して、操業の確認や補助金の交付申請手続きについて支援を行う。 事業者支援ガイドの電子版を市ホームページで公開しているため引き続き周知を図る。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	既に再投資補助金を交付した企業へのフォローアップに加え、関心を示す企業に対し事業者支援ガイドを活用し事業を周知する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 14日

中施策事業名	企業留置事業（企業訪問事務）	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	市内の企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市との信頼関係が構築され、企業が引き続き豊明市を拠点として活動している。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 指定集積業種判定

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業訪問累計件数		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	130	130	130	130	130
		実績値	100	122			
単位	件	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位	件						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			162千円	164千円	
人 件 費	a 事業費合計		162千円	164千円	100千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			162千円	164千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			2円	2円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△ B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△ B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : 商工会を通じて市内事業者に市の事業者支援パンフレットを配布し、補助金等の支援策を活用いただくようPRした。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市内移転や事業拡大を計画している企業を中心に訪問し、支援策の紹介を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き企業訪問を行い、市内での再投資の支援や企業が抱える課題の抽出を図る。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 16日

中施策事業名	企業誘致事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	32 市内に遊ぶ場所や働く場所があり、豊明市が潤っている
②大施策	地域の経済活動が盛んなまちをつくる
③中施策	産業の活性化を図る
④中施策事業の対象	製造業及び新規有望分野の企業
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	産業団地への企業誘致
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・産業立地（企業誘致） ・企業立地促進条例

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
企業の立地面積 意向確認分)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	12	12	12	12	12
		実績値	35	35			
単位	ha	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			106千円	87千円	
人 件 費	a 事業費合計		106千円	87千円	144千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			106千円	87千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			2円	1円	

■評価

評価項目	内容	評価結果	
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○
			A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A : 柿ノ木工業団地の2次分譲内定企業に対し、企業訪問を行い地域社会と良好な信頼関係が構築できるよう情報共有を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	空き区画については引き続き誘致活動を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	柿ノ木工業団地の引き渡しに際し、地域社会と良好な関係が築けるよう双方の橋渡しを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 14日

中施策事業名	雇用就労対策事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働く
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する
③中施策	若い人たちが働きやすい労働環境づくりを支援する
④中施策事業の対象	市内事業者、求職者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内企業の魅力が発信され、市内企業への就職が促進されている。
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・労務相談 ・雇用対策 ・移住支援事業

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
就職活動支援イベント等の情報発信数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	12	12	12	12	12	12
企業合同説明会参加企業所数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	24	24	24	24	24	24
単位	社	実績値	26	29			
	回						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			33千円	34千円	
人件費	a 事業費合計		33千円	34千円	3,133千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	2,295千円
③ コスト(①-②)			33千円	34千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : 雇用就労対策として、近隣自治体と合同開催の就職ガイダンス及び愛知労働局所管ハローワーク名古屋南との共催による市内事業者を対象とする就職フェアを開催することで、就労希望者と雇用者が接する機会を提供した。 就労に繋がらない若年者を対象に、なごや若者サポートステーションの協力を得て若年者就労相談を行い、7件の相談があった。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	市広報やWEBサイト等でPRを行い周知を図る。就職フェア等を継続し、人材確保の機会を設ける。 引き続きなごや若者サポートステーションの協力を得て、若年者の就労相談を行う。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	多様化する求職者と人材不足に悩む企業とのマッチングの可能性を図れるよう調査・検討する。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 14日

中施策事業名	創業支援事業	部課名	経済建設部・産業支援課
		作成者	塚谷友昭

①めざすまちの姿	39 若い人たちが地元で働く
②大施策	若い人たちの地元での就労を促進する
③中施策	若い人たちの働く意欲・能力を高める
④中施策事業の対象	市内在住、在勤、在学者
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市内在住、在勤、在学者が、豊明市内で起業している
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生事業（しごと創出） ・起業・創業支援

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
創業実践セミナーの受講者数(延べ)		事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	18	18	18	20	20
		実績値	41	23			
単位	人	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
		目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0			
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度			決算額	決算額	予算額
			令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)			0千円	0千円	
人件費	a 事業費合計		0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0人	0人	
		b 金額	0千円	0千円	
	非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0人	0人	
		金額	0千円	0千円	
人件費合計			0千円	0千円	
② 補助金等(収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト(①-②)			0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③/市の人口(評価対象年度末時点))			0円	0円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか(事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B : 新規起業者数は年度ごとに波はあるものの一定に推移している。一方、評価指標である「創業支援セミナー」では実施前に、図書館にて創業に関する書籍を紹介するコーナーを設けるなどの周知を行ったことでセミナーへの参加者が増え、関心は高まっていることがうかがえる。引き続き商工会や近隣自治体と連携してPRを続けていく。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	商工会でチラシを配布するとともに、市広報やWEBサイトでPRを継続して行う。創業支援セミナーについて市民へ周知するため、上記方法のほか図書館報やSNS、市役所内及び前後駅待合所にてパンフレットの配架などにより案内を行う。		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き連携する自治体や商工会においてセミナーのPRを行う。創業につながる補助金を準備し、創業を支援する。		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等	
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 創業支援補助金	内容、理由、時期等 産業活性化のため、創業する者に対し交付(令和8~10年)	
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等	